

## ルクア大阪が仕掛ける「おもろい」から始まる循環カルチャーの創造



JR西日本SC開発株式会社は、JR西日本の子会社であり、同グループのショッピングセンター(SC)事業を統括。ルクア大阪や天王寺ミオを運営するとともに西日本の約45の商業施設を統括しており、特にルクア大阪は売上高1000億円超、年間入館者数約8000万人を誇る国内屈指のSCである。一方で、機能としての商業だけでなく顧客の新たな価値創出を担う未来価値創造部を設置しており、SCの売上の多くをファッション関連が占める中、持続可能な事業運営に向けた社会課題解決や文化創造にも注力している。

### 見えないサステナブルを掲げ、「おもろい」体験で衣料品循環の文化創造を目指す

ファッション産業の大量廃棄や環境負荷といった課題に対し、デベロッパーとして持続可能なモデルを構築するため、2022年からプロジェクトを開始。特徴的なのは「サステナブル」を前面に出さず、あくまで「おもろい」「可愛い」といった情緒的価値を入口とする「見えないサステナブル」の実践。主な取り組みとして、衣料品回収の実証実験や、不要になった服の行き先を相撲の決まり手になぞらえて82通り提示する「服の決まり手82手」をWebとリアルイベントで展開している。さらに、回収した服の「0円マーケット」やリペア等の体験イベントを通じ、単なる機能的価値を超えた新しい体験価値を提供し、消費者が自然と循環経済に参加する文化(カルチャー)の創造を目指している。

### ✓ 消費者へのサーキュラーエコノミーの伝え方

ターゲット層を、既に環境に対する行動を実践している環境意識が高い層ではなく、最も顧客ボリュームの大きい「特に意識していない層」に設定。コミュニケーションの最大のポイントは、「環境に良い」「サステナブル」といった正論や義務感を消費者に押し付けないこと。ワクワクする体験を入り口としている。

具体的には、「服の決まり手82手」では、服を手放す手段に相撲の技のようなユーモアを持たせ、多様な選択肢を提示している。また、衣料品回収では、ボックスをあえて透明にし、「他の人も出している」「まだ着られる良い服も入っている」という様子を可視化することで同調効果を生み出し、捨てる罪悪感や参加への心理的ハードルを下げる工夫を凝らしている。さらに、リアルな商業施設という強みを生かし、買い物ついでに来店した客が偶然立ち寄ったイベント(セレンディビティ)で、回収服の「0円マーケット」やリペア体験に参加できる場を設け、楽しみながら自然な形で行動変容と文化の醸成を図っている。



顧客に価値を提供する共創のパートナーであるテナントやブランドと「おもろい」カルチャーを作り、消費者の意識を柔らかく変えていくアプローチをとっている。その上で、「服の決まり手82手」の選択肢の一つとしてテナントやブランドに参画してもらうなど、新たな循環の仕組みを通じた自然な連携や対話を図っている。

### JR西日本SC開発株式会社 未来価値創造部

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-1-3

TEL: 06-6151-1500

URL: <https://jrWSC.co.jp/>

<https://fukunokimarite82.jp/>

LUCUA  
OSAKA